

避難について

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき行動を日頃から確認しておきましょう。

ハザードマップで自宅の位置を確認し、印をつけましょう。
※地図の精度によって自宅の位置が正確でない場合があります。

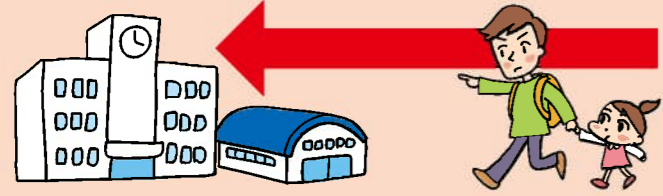
自宅がある場所に危険区域の色(洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)が塗られていますか?

いいえ

原則として避難する必要はありませんが、色が塗られていなくても、災害の危険性について調査・解析されていない地域の場合もあります。
川沿いにお住いの方や、がけのそばにお住いの方などは、防災気象情報や町からの避難情報に注意し、必要に応じて避難してください。

はい

災害発生の危険があるので、原則として自宅の外に避難(立ち退き避難)する必要があります。



ご自身または一緒に避難する人の中で、避難に時間を要する人(高齢者、障がいがある人、乳幼児など)はいますか?

はい

安全な場所(危険区域の色が塗られていない場所)に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル3
の避難情報が出たら、**安全な親戚宅や知人宅**に避難してください。
※日頃から相談しておきましょう。

いいえ

警戒レベル3
の避難情報が出たら、**町が開設した避難場所**に避難してください。
※町からの情報に注意しましょう。

はい

安全な場所(危険区域の色が塗られていない場所)に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?

いいえ

警戒レベル4
の避難情報が出たら、**安全な親戚宅や知人宅**に避難してください。
※日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル4
の避難情報が出たら、**町が開設した避難場所**に避難してください。
※町からの情報に注意しましょう。

※すでに災害が発生している場合や、夜間の場合など、危険な状況の中で自宅の外へ避難するのがかえって危険だと感じたときは、危険な場所(川やがけ)からなるべく離れた場所にとどまって命を守る行動(屋内安全確保)をとってください。

家の2階以上へ(がけと反対側)
それも困難なら
がけから離れた部屋へ

※洪水の危険があっても、浸水深よりも高い場所に位置しているなどの条件を満たしていれば、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。



避難時の心得

●**非常持出品は最小限!**
リュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。身軽に行動できるように持出品は最小限にしましょう。



●**自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!**

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。



●**外出中の家族には連絡メモを残そう!**

避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「どこどこへ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。



●**集団で助け合おう!**

単独での行動は避け、できるだけ近所の人たちと集団で指定された場所へ避難しましょう。緊急時は、家族、隣近所、地域の皆さんで助け合しましょう。



●**緊急車両の通行を妨げないように**

緊急車両の通行の妨げにならないよう、徒歩や車の乗り合わせで避難しましょう。



●**避難所では係の人の指示に従いましょう!**

避難所に着いたら、住所、氏名を報告し、係の人の指示に従いましょう。



洪水時の避難のポイント

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。**運動靴**をはきましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を慎重に歩きましょう。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(フタがとれている可能性あり)、坂道(水深が浅くても水の流が速い)、ため池などが危険です。



垂れ下がった電線には触らないようにしましょう。



橋を渡らないようにしましょう。



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。



土砂災害時の避難のポイント

●**がけ崩れのおそれがある場合**

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



●**土石流のおそれがある場合**

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角方向に逃げましょう。



●**屋外に避難する場合**

避難の際には、他の土砂災害の危険があるとところはできるだけ避けましょう。

●**やむを得ず屋外に避難できない場合**

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

避難所一覧

※災害の状況によって使用できない場合があります。開設状況は町からお知らせします。

指定緊急避難場所

災害の危険が迫った場合にその危険から緊急に短時間の間逃れられるための施設です。グラウンドは地震時の指定緊急避難場所として使用します。

番号	避難所名称	住所	洪水	土砂災害	地震
1	坂本小学校	三ヶ所3446	○	○	○
2	上組小学校(体育館)	桑野内4915-1	○	○	○
3	桑野内交流センター(体育館)	桑野内1514-5	○	○	○
4	三ヶ所小学校	三ヶ所10750	○	○	○
5	五ヶ瀬中学校	三ヶ所11530	○	○	○
6	鞍岡小学校	鞍岡1696	○	○	○
7	五ヶ瀬中等教育学校	三ヶ所9468-30	○	○	○

指定避難所

災害の危険性がおさまっていない場合、または被災して家に戻れなくなった場合に、避難者を必要な期間滞在させるための施設で、町が開設・運営する避難所です。

番号	避難所名称	住所	洪水	土砂災害	地震
1	荒踊の館・駐車場	三ヶ所3216-1	○	○	○
2	五ヶ瀬町役場	三ヶ所1670	○	○	○
3	Gパーク五ヶ瀬ドーム	三ヶ所9223	○	○	○
4	上組小学校(体育館)	桑野内4915-1	○	○	○
5	鞍岡地区複合型交流施設(旧鞍岡中)	鞍岡5929	○	○	○

福祉避難所

指定避難所での避難生活に支障がある要配慮者(高齢者や障がいがある人など)に利用していただく施設です。
※災害の状況や避難者の状況をみて町が開設を判断します。開設状況は町からお知らせします。

番号	避難所名称	住所	備考
1	五ヶ瀬町子育て支援施設	三ヶ所9400	
2	五ヶ瀬町福祉センター	三ヶ所10725	洪水、土砂災害時は使用不可
3	共生型福祉施設「ぬくもり」	桑野内1514-5	